



# 複眼力

*Expand Your Perspective*



永田円了

複眼力、それは凝り固まった既成概念に、複数の視点から光を差し入れることのできる力のことである。この力があれば、川の流れのごとく、人の考え方も澁むことなく流れることができる。

満開の桜を愛でると同時に、散る花びらも観る。欠点ばかりが目立つ人の中に、光る長所も観る。こういう力が備われば、人生も味わいのある深さにたどり着くこともできるのではないだろうか。

## ブレンストーミング

複眼力を習得する手法の一つにブレンストーミングがある。アレックス・オズボーンによって考案された会議方式のひとつで、集団思考、集団発想法ともいう。集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法である。



<ブレンストーミングの4大原則>

- |                              |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|
| 1. 判断後回し Defer Judgment      | 3. 質より量 Quantity breeds quality |
| 2. 思考にタブーを設けない Free Wheeling | 4. ヒッチハイキング Hitchhiking         |
- (他者の意見に便乗し、新たなアイデアを生み出すこと)

## “あたりまえ”を斬る

オンドリは、本当に生涯仲良し夫婦(おしどり夫婦)なのか？ 実は、オンドリは、半年ごとにパートナーを変えて繁殖する鳥である。善人とは、いい人なのか？ いいえ、本当の善人とは、どこかで悪人になってもかまわないという覚悟をしている人である(武田鉄矢)。



“いじめ”は、制度や法律でなくすことができるのか。いじめっ子を徹底して処罰すればこの問題は解決するのか。いいえ、“いじめ”は、人間性の一部、誰しもがもっている闇の部分である(サンデル教授『白熱教室』)。このことに、気づかない限り、いくら犯人探ししても解決しない。犯人は一人ひとりの意識の中にいるのだから。では、どうしたらいいのか？ このことに気づくこと、これしかない。気づくことで、次の一歩が自ずから出現する。

## 複眼力の問いと答え

なぜ夜は暗いのか？ 答えは、「地球は回っているから」。この問いと答えを、ホーキング博士が複眼力で書き換えると、次のようになる。「なぜ夜は暗いのか？」の問いは、「宇宙に何兆もの光る星があるのに、なぜ未だ夜を明るく照らさないのか？」になり、「地球は回っているから」という一般的な答えは、「なぜなら、何兆もの星の光が、未だ地球に到達していないから」となる。

生きることはむづかしい → だから、人生はおもしろい。だから人は成長し、進化する。

### <事例 DVD>

オンドリは、本当に生涯寄り添う仲良し夫婦か？  
 サンデル教授白熱教室 / “いじめ”問題に取り組む / いじめは人間性の一部  
 1953年米映画「シェーン」 / 複眼力で自分を知る The difference is I know it.  
 映画「Railways」より、複眼力の必要性 - “どうして看護師になったの？”  
 竹取物語 / Uターン型の気づき / かぐや姫も翁も以前の自分とは違う意識生まれる  
 米映画『ナチュラル』 / 人には二つの人生が /  
 気づく前の人生と、気づいた後に生きる人生がある  
 歌・レ・ミゼラブルより、「Suddenly」配役総出演  
 今まで見えなかったものが、突然見えてきた

